

AEDは、心臓に電気ショックを行うための機器です。突然、心臓が止まるのは、心臓がフルフルと細かく震える「心室細動」によって生じることが多く、この場合は、できるだけ早く心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを取り戻す（これを除細動という）ことがとても重要です。AEDはコンピュータによって自動的に心室細動かどうかを調べて、音声メッセージで電気ショックを指示してくれますので、一般の人でも簡単に操作できます。心室細動になってから電気ショックを行うまでの時間が

AEDとは

心肺蘇生法とは
胸を強く圧迫したり、息を吹き込むことにより、止まっていた心臓や呼吸の動きを助ける方法です。命が助かる可能性は時間とともに減っていきますが、そばに居合わせた人が心肺蘇生法を行った場合は、その減り方がずいぶんとゆっくりになります。心肺蘇生を行った場合は、行わなかった場合に比べ、命が助かる可能性が高くなります。

心肺蘇生法とは



※AEDは1歳以上から使用できます。電源を入れるには電源ボタンを押す機種とふたを開けると電源が入る機種があります。

1分遅れるごとに、生存率のチャンスが7〜10%ずつ低下します。最近では、公共施設や小・中・高校などの学校、空港、デパートなど、いろいろな場所に備え付けられていますので、万が一の付近で誰かが倒れた場合は、このAEDを使用して救命に役立ててください。

応急処置の流れ（心肺蘇生法とAEDの使用）

①反応を確認する

②助けを呼ぶ

119番通報とAEDの手配をする。

③気道を確保する

頭部を後にのけぞらせ、あご先を上げる。



④呼吸を確認する

正常な呼吸（普段どおりの息）をしているか？

⑤回復体位にして様子を見る



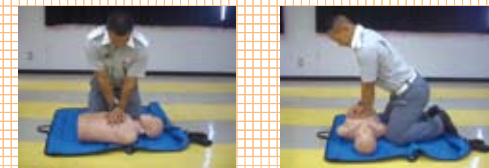
はい いいえ

⑤人工呼吸2回行う（省略可能）

もし人工呼吸の方法がよくわからない場合や、傷病者の口唇部に血液やおう吐物がある場合は、人工呼吸は実施せず、胸骨圧迫のみ実施してください。

⑥胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせを繰り返す

圧迫は強く、早く（約100回／分）絶え間なく行う。圧迫と圧迫の間（圧迫を緩めるとき）は胸が元の高さに戻るまで。



⑦AED到着

電源を入れる。電極パッドを装着する。（パッドの装着位置はパッドに絵で示されています）



⑧心電図の解析

電気ショックは必要か？（AEDが自動で判断）

はい いいえ

⑧電気ショック1回行う。その後すぐに胸骨圧迫と人工呼吸を再開し、5サイクル（2分間）行う。

⑧すぐに胸骨圧迫と人工呼吸を再開し、5サイクル（2分間）行う。

※119番通報したとき、救急車が到着するまで指令室員から応急処置の指導をする場合があります。その場合は、指示に従い積極的に応急処置を実施してください。

目の前で人が倒れた！
その時どうする！？

毎年、9月9日は救急の日となっており、「救急の日」を含む1週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。

あなたの近くで誰かが倒れたとき、どのような行動を取ったらいいのでしょうか？あなたが行動することで救える命があります。救急に対する正しい知識を学んで、緊急時に備えましょう。

問い合わせ 浦添市消防本部 ☎875-0119

勇気をもって救命のリレーを！

救命に必要なことは、迅速に下記の救命のリレーを開始し、それを途切れることなくつなぐことです。心臓や呼吸が突然止まって誰かが倒れた場合、救命のリレーの①・②ができるのは周りにいるあなたです。勇気を持って行動をしましょう。

1



2



4



3



心臓や呼吸が止まった人の治療はまさに1分1秒を争います。命が助かる可能性は心臓や呼吸が止まってから約10分の間に急激に少なくなりますが、このようなきっかけを逃さず、必要なのはすぐに119番通報することです。119番通報が早ければ早いほど、病院に早く到着できます。また、病院に到着するまでの間、救急隊員による救命処置をより早く受けることができます。しかし、それだけでは十分ではありません。救急車が到着するまでには全国で平均7.9分（浦添市では6.1分）かかります。もし、救急車が来るまで何もせずにいると、助かる命も助けられないことになってしまいます。そこで、そばに居合わせた人による応急処置（心肺蘇生法・AEDの使用）が必要になるのです。

心臓や呼吸が止まってしまった！